

より良い日本国憲法とは

東京大学社会科学研究所教授 ケネス・盛・マツケルウェイ^{もり}ン

- * 憲法は守られているかが重要
- * ドミニカ共和国は憲法を33回改正
- * 日本とデンマークは一度も改正されず
- * 日本国憲法は稀に見る短さ
- * 三分の二で憲法改正発議は一般的
- * 構造的に改正の必要性が低かった
- * プライバシー権と環境権に関心
- * 9条改正は党派の争い
- * 憲法と選挙運動のあり方
- * 憲法改正とは統治機構改革



山縣 それでは開会いたします。（拍手）

今週は、先週に引き続きまして石橋湛山賞の受賞記念講演会をさせていただきます。

この賞は石橋湛山記念財団が主催されており、東洋経済と経済倶楽部が後援しております。本日は、石橋湛山記念財団の代表理事の石橋省三さんにお越しいただきましたので、初めに石橋さんからお話をいただきます。石橋さん、お願いいたします。

石橋 石橋です。本日は、この記念講演会にお越しいただきありがとうございます。

石橋湛山賞は44回、本年度も2冊の本が湛山賞の受賞作品となり、先週に引き続き、ケネスさんのご本についてのお話を頂戴するということとです。

選考理由等はわざわざここで申し上げることもないので、新しい日本国憲法に対する切り口というようなことが非常に評価されたの、もう一つは、石橋湛山賞は割合新書が多いんですね。先週の三浦先生の本も新書だったので、新書ばかりだとよろしくないんじゃないかということ、特にそれを主張されていますのが選考委員の山縣理事長ということで、入り口でご覧になりましたようにしっかりとしました本が湛山賞として選ばれたということでもあります。とは言いましても、皆さんこの厚い本を今から読むのも大変だなということかと思えますので、本日はそのエッセンスといえますか、大事などころをケネス先生にお話しいただくということ、ご興味がありましたらぜひ本をご購入